

令和4年2月25日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局  
紀南河川国道事務所

## 新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)を公表します ～関係県知事の意見照会を開始～

新宮川水系の国管理区間を対象とした河川整備計画の策定に向けて、これまで関係機関や熊野川懇談会にて学識経験者と意見交換を行い、令和3年12月15日に新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)を公表し、学識経験者や住民の皆様からご意見をいただきました。

このたび、新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)を作成しましたので、いただいたご意見への対応状況とあわせて、公表します。

今後、河川法第16条の2第5項(※)に基づき、本日より関係県知事のご意見をお聴きし、河川整備計画を策定する予定です。

### ○新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)の公表

あわせて、新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)と新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)の対比表(いただいたご意見への対応状況を含む)についても掲載いたします。

紀南河川国道事務所ホームページで掲載いたします。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/zimusho/kasenseibikeikaku.html>

### ※河川法第16条の2第5項

河川管理者は、河川整備計画を定めようとするときは、あらかじめ、政令で定めるところにより関係都道府県知事又は関係市町村長の意見を聴かなければならない。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、  
三重県政記者クラブ・第二県政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、  
和歌山県政記者クラブ、和歌山地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、  
新宮市中央記者会、新宮記者クラブ、熊野市記者クラブ、田辺記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

副所長(河川) オカザキ 岡崎 シンイチ 慎一 調査課 課長 ヤギ 八木 ケイタ 啓太

TEL 0739-22-4564 (代表)

# 新宮川水系（熊野川）河川整備計画（案）について

これまでの経緯と今後の進め方

平成 20 年 6 月

・新宮川水系河川整備基本方針 決定

・明日の熊野川整備のあり方 公表（平成 21 年 3 月 熊野川懇談会）

洪水被害の発生

・平成 23 年紀伊半島大水害（浸水面積約 430ha、浸水家屋約 3,300 戸）

河川激甚災害対策特別緊急事業着手（平成 23 年～平成 28 年）

・主な対策として河道掘削、築堤、輪中堤等

熊野川改修事業（緊急対策特定区間）※平成 29 年度から概ね 5 年間

・主な対策として河道掘削等

令和 2 年 7 月

「気候変動を踏まえた治水計画のあり方について」答申（社会資本整備審議会）

・気候変動を踏まえた治水計画の見直し及び流域治水への転換を提言

・明日の熊野川整備のあり方（追記版） 公表（令和 3 年 6 月 熊野川懇談会）

令和 3 年 10 月

・新宮川水系河川整備基本方針の見直し

※河川法第 16 条の 2 に基づく手続き

令和 3 年 12 月 15 日

・新宮川水系（熊野川）河川整備計画（原案）及び意見聴取方法の公表

意見聴取 令和 3 年 12 月 18 日、令和 4 年 1 月 21 日、令和 4 年 2 月 13 日

意見聴取 学識経験を有する者（熊野川懇談会）

意見聴取 令和 3 年 12 月 20 日から令和 4 年 1 月 19 日

意見聴取 関係住民（パブリックコメント）

意見聴取 令和 4 年 1 月 15 日、16 日

意見聴取 関係住民（公聴会）

今回公表 令和 4 年 2 月 25 日

・新宮川水系（熊野川）河川整備計画（案）の公表

意見聴取 関係県知事 意見聴取 関係市町村長

・新宮川水系（熊野川）河川整備計画の決定・公表

(参考1) 住民からのご意見（パブリックコメント、公聴会）（令和4年1月24日記者発表資料抜粋）

1. 住民からのご意見（パブリックコメント、公聴会）について

新宮川水系（熊野川）河川整備計画（原案）に関する意見をお聴きしたところ、パブリックコメント、公聴会においてご意見を頂き、ありがとうございました。

それらのご意見を踏まえて、また学識経験者（熊野川懇談会）のご意見等も踏まえて、計画の案を検討して参ります。

多岐にわたる項目について、記載ぶりの修正などの多数のご意見を頂きましたので、それらのご意見については、事実関係を確認し、文章を推敲した上で、計画の案に反映することと致します。

2. 分類別の住民からのご意見数（パブリックコメント・公聴会）

分 類	意見数
<b>■河川整備計画に関する意見</b>	
1. 流域および河川の概要	
1.1 流域および河川の概要	4
1.2 治水の沿革	6
1.3 利水の沿革	0
1.4 河川環境の沿革	2
2. 河川整備の現状と課題	
2.1 洪水等による災害の防止または軽減に関する現状と課題	22
2.2 河川水の適正な利用および流水の正常な機能に関する現状と課題	0
2.3 河川環境の現状と課題	5
2.4 河川維持管理の現状と課題	4
3. 河川整備計画の目標に関する事項	
3.1 基本的な考え方	6
3.2 計画対象区間	1
3.3 計画対象期間	0
3.4 洪水等による災害の発生の防止または軽減に関する目標	4
3.5 河川水の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標	0
3.6 河川環境の整備と保全に関する目標	1
3.7 河川の維持管理に関する目標	0
4. 河川整備の実施に関する事項	
4.1 河川工事の目的、種類および施工の場所並びに当該河川工事の施工により設置される河川管理施設の機能の概要	16
4.2 河川の維持の目的、種類および施行の場所	8
5. その他河川整備を総合的に行うために必要な事項	
<b>■全般に関する意見等</b>	1
<b>合計(件)</b>	<b>80</b>

【参考】

- ・パブリックコメント：17名から74件
- ・公聴会：2名から6件

(参考2)

## 第19回 熊野川懇談会 議事骨子

開催日時/場所 令和4年2月13日(日) 10:00~11:30/Web開催  
出席者 委員 13名 2名欠席(熊野川懇談会委員名簿 参照)、河川管理者等 7名

前回の熊野川懇談会に引き続き、令和3年12月15日に公表を行った「新宮川水系(熊野川)熊野川河川整備計画(原案)」(以下、「原案」という。)について、意見交換を行った。

原案に意見する場合は今回の懇談会をもって終了することが確認された。

### 1. 新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)に対する意見への対応方針

紀南河川国道事務所から懇談会からのご意見への対応方針を説明し、意見交換を行った。

委員からの主なご意見は(別紙)のとおり。

### 2. スケジュールについて

紀南河川国道事務所から懇談会およびパブリックコメント・公聴会でのご意見を集約し、対応方針に沿った「新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)」の作成後、関係行政機関のご意見を踏まえて、策定まで進めることを説明した。

以上

(別紙)

◆委員からの主なご意見 (■委員からのご意見)

＜新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)に対する意見への対応方針＞

- 計画高水の23,000m<sup>3</sup>/sに対して、河川整備計画では段階的な整備目標として22,000m<sup>3</sup>/sにしたのかを、背景や理由を記載しないと理解が得られないと思う。
- 段階的な河川整備については、整備の進捗の見える化をしっかりと、住民がよく理解でき、流域の方々に関心を持ってもらえるように、検討してもらいたい。
- 総合的な土砂管理の記載については、上流、中流、下流で関係者が連携して対策していくことを図中にも表現した方が良い。
- デジタルトランスフォーメーションの危機管理体制の構築として、水位予測やAIを使った浸水解析を実施することを是非とも進めてもらいたい。また、報道機関との連携をしつつ、住民に被害想定をどう発信していくのが、とても大事な部分だと思う。
- 河川整備計画を流域全体で取り組むことを強調しながら、PRしていくということが重要な点であると思う。加えて、地域の住民の方々がどれだけ理解し、どれだけ一緒に取り組むかがポイントかと思うので、流域全体で、流域の住民の方々を巻き込みながら今後取り組んでいくところを意識してもらいたい。
- 平成23年に大水害が起り、水害を防ぐことは命を守るために大事である。一方では、河川の自然環境に対する教育とか、そういうのも大事ではないかと思う。
- 井田海岸の養浜事業についても連携して継続してもらいたい。
- 国交省のクリーン大作戦、7月の河川の美化月間に合わせて、本川と市田川、下流から上流部まで皆さんボランティアと清掃しているが、子供たちにもまた一緒に河川清掃に協力してもらい、親しんでもらえるようにコイの放流とかもしていきたいと思っている。
- 河川整備を進めることによって、地域の発展につながるような将来的な全体像、発展にどうつながるかというのがイメージできるように、もう少し強くメッセージとして発信できたらよかったかなというふうに思う。
- 総合土砂管理については県や民間企業などが関わるため、国交省でないとコーディネートできない問題もいっぱいあるので、これからぜひ具体的な対策に向けて頑張ってもらいたい。
- 「熊野川」は熊野信仰を育て、熊野川流域の物流を担ってきた非常に重要な経済を担ってきた河川名である。その名称が残るよう、新宮川水系と熊野川の2つ出てくることを将来的な課題として取り組んでいただけたらと感じた。

(委員長より総括)

- 長きにわたる懇談会であったが、各委員からご意見をもらい意見交換を尽くすことができたかと考える。原案に意見する場合は本日の懇談会をもって終了としたい。
- 河川整備計画では目標に対して進捗点検を行うことになっている。河川管理者は適切に河川整備計画の進捗状況を点検し、整備計画の内容が実施できるようお願いしたい。

以 上

熊野川懇談会委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	所属	備考
井伊 博行 い い ひろゆき	水循環、水質	和歌山大学 システム工学部 教授	
泉 諸人 いずみ もろと	歴史・文化、 観光、林業	浦島観光ホテル株式会社 取締役 浦木林業株式会社 代表取締役	
加治佐 隆光 かじさ たかみつ	水資源工学	三重大学大学院 生物資源学研究科 教授	
岸上 光亮 きしがみ みつよし	農業経済、 地域政策	和歌山大学 食農総合研究教育センター 教授	
清岡 幸子 きよおか ゆきこ	地域の特性に詳しい (新宮市)	元新宮商工会議所女性会 会長	
高須 英樹 たかす ひでき	植物、生態系	和歌山大学 名誉教授 和歌山県立自然博物館 館長	欠席
瀧野 秀二 たきの しゅうじ	水生生物、植物	熊野自然保護連絡協議会 会長 熊野川 河川水辺の国勢調査アドバイザー	委員長代理
立川 康人 たちかわ やまと	水工学 水文・水資源学	京都大学大学院 工学研究科 教授	
中島 千登世 なかしま ちとせ	地域の特性に詳しい (新宮市)	河川を美しくする会 副会長	
早坂 豊司 はやさか とよし	広報・報道	株式会社テレビ和歌山 報道制作本部長	
藤田 正治 ふじた まさはる	河川・砂防、 森林工学	京都大学 防災研究所 教授	委員長
松尾 直規 まつお なおき	河川水質	中部大学 名誉教授	
森 信人 もり のぶひと	海岸防災工学	京都大学 防災研究所 教授	
山本 殖生 やまもと しげお	熊野の歴史・文化 ・信仰	国際熊野学会 代表委員 熊野三山協議会 幹事	
横田 浩 よこた ひろし	発電水力、 水源地域対策	エネルギー戦略研究所株式会社 取締役	欠席